

# — 関西学院大学 —

2月6日 神・商・国際・教育・総合政策学部 英語

## 解答

[I]

- A. (1) d (2) d (3) a (4) b (5) c (6) a  
B. d, e, g  
C. 結果として、彼らの最初の取り組みはしばしば失敗に終わり、時間が足りなくなってしまうのだ。

[II]

- A. (ア) b (イ) c (ウ) b (エ) d  
B. (1) c (2) d (3) b (4) b  
C. 実際の劇場とは違って、撮影された演技は変わることはないが、それらに対する我々の反応は時間の経過とともに変化するるのである。

[III]

- A. (1) a (2) b (3) d (4) a (5) d  
B. (ア) c (イ) b (ウ) a (エ) b  
C. c, e

[IV]

- (1) d (2) b (3) a (4) d (5) a  
(6) a (7) c (8) c (9) b (10) d

[V]

- A. (1) h / c [dbehgacf] (2) g / d [feagcbdh]  
B. (This research) has demonstrated scientifically that lack of sleep has an influence on the ability to think.  
(別解) (This research) has proven scientifically that insufficient sleep affects the capacity to think.

[VI]

- (1) b (2) d (3) c (4) d (5) a  
(6) d (7) b (8) c (9) b (10) d

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

**解説**

〔IV〕

- (1) 選択肢 d を入れると、「どんな方法でもあなたにとってうまくいくような形で自分の話をしなさい」となり、文意が通る。
- (2) **the impact the news has** とあるが、**the impact on**～「～への影響」とすればよいので選択肢 b が正解である。
- (3) **it would be appreciated if**～で「～ならばありがたい」などの意味になる。よって、選択肢 a を選ぶ。
- (4) **on good terms with**～で「～とうまくやる、仲良くする」という意味である。選択肢 d が正解である。
- (5) 第 5 文型で **elect O C**「O を C に選出する」という意味になるが、この受動態の形が問われている。選択肢 a が正解である。
- (6) 「他のどんなことよりも対立を避けたいと思うような人である」とすれば意味が通じるので、選択肢 a を選ぶ。
- (7) まず主節の動詞の形が **have** となっていることに注意しよう。つまり、主語には **I, you**, 複数になるものが来るということである。**every, each** は後ろの動詞が現在形の時三単現の **s** が付くので不適切。**almost** は副詞なので名詞は修飾できない。よって選択肢 c が正解である。
- (8) **should** を使った仮定法の表現で、**if** が省略され倒置が起こっていることが見抜けるかどうか問われている問題である。選択肢 c が正解である。
- (9) これも仮定法の問題である。**if only** の後ろに来る形がどんなものであったか覚えているだろうか。ここでは後ろの文から仮定法過去完了だと判断し、**had + Vp.p.**の形の選択肢 b を選ぶ。
- (10) 完了形と使役の **make** の受動態の形が正確に理解できているかを問う問題である。選択肢 d が正確な形である。

〔V〕

A.

- (1) 与えられている日本文はうまく訳されているが、人以外のものが主語になっており、並べかえる語句を踏まえて直訳し直すと、「文化は、あなた方が故郷から離れたときに場違いだと感じさせるものであるということだ」となる。つまり、使役の **make** を使った文になるということである。完成した形は以下の通りである。

Culture is (what makes you feel out of place when) you are away from home.

- (2) 各パーツごとにしっかり完成させることができれば、並べかえられるだろう。完成した形は以下の通りである。

The (aim of this article is to raise awareness) of a healthy lifestyle.

B.

完成させる文の主語が **The research** という、人以外のもので始まることに注意しよう。考え方としては、「研究が～ということを実証した」とすればよい。

あとは、「実証する」=demonstrate, prove、「睡眠不足」=lack of sleep、

「影響を与える」=have an influence [impact] on～といった部分を正確に繋ぎ合わせていけば完成させられるはずである。「睡眠不足」などがうまく言えない場合は次のように切り抜けることも可能である。別の解答例として以下に記載しておく。

(This research) proved that not sleeping enough [sufficiently] has an influence on the ability to think.

**その他の大学・学部の解答解説はコチラ！**

**増田塾 2019 解答速報ホームページ**



早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！